

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区・親と子のふれあい事業「夏のワクワク海験(たいけん)」		堺区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R4
<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民に歴史ある堺区の海や港の魅力に触れて、親しみを持ってもらう。 ○ 子育て世帯の地域での思い出作りを支援することで、郷土愛の醸成を図る。 ○ 漁港や水産業の存在を再認識してもらい、地域産業の活性化につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民に歴史ある堺区の海や港の魅力に触れて、親しみを持ってもらう。 ○ 子育て世帯の地域での思い出作りを支援することで、郷土愛の醸成を図る。 ○ 漁港や水産業の存在を再認識してもらい、地域産業の活性化につなげる。 	来場者数(人)	3,000	3,000	82
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 地域の連帯感や家族の絆が育む安心感、将来の担い手である子どもの健全育成に繋がるため、実施すべき事業である。	◎ 堺区自治連合協議会と堺区役所で構成された堺区ふれあい事業実行委員会が実施主体となり、堺市漁業協同組合連合会が協力する区民との協働事業である。	○ 大阪湾クルージングでは、小型船舶で堺の近海を遊覧航行し、海上から堺の港や沿岸を見ることで新たな発見や関心に繋がる。	○	区民との協働・子育て支援・地域産業のPRが一括でできることから、費用対効果の高い事業であると言える。	
⑤自立発展性	総合評価				
— 本事業は、区民が地域資源の価値に誇りを持ち、自治意識の高揚につながるものではあるが、区民同士を有機的に結びつける動きが行政に求められているため、区民独自で行うことは難しい。	○ 令和4年8月21日に予定していた「夏のワクワク海験」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、令和5年3月25日に、堺出島漁港においてクルージングのみのイベント「ワクワク海験 春のクルージング」を実施した。クルージングの体験で、堺の海や港への親しみや関心が高まった参加者が多く見られた。参加対象を概ね小学生以下とその保護者とする事で、堺の海での家族との良い思い出となった。またクルージングを通じて、漁港の存在を知り、もしくは再認識することで、地域資源や地域産業のPRになった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	例年は大阪湾クルージングの他に多数の催しやブースを設けたイベントであったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。このため、別の期日に大阪湾クルージングのみのイベントを実施した結果、参加者から好評であった。また、事業の目的や費用対効果を検討した結果、次年度は、大阪湾クルージング以外の催しやブースを縮小して実施する。				